



司法の反動化に歯止めをかける勝利 美世志会2名の懲戒解雇無効を勝ちとる!

判決後に行われた「不当判決弾劾! 美世志会・家族を守りぬく10.17集会」

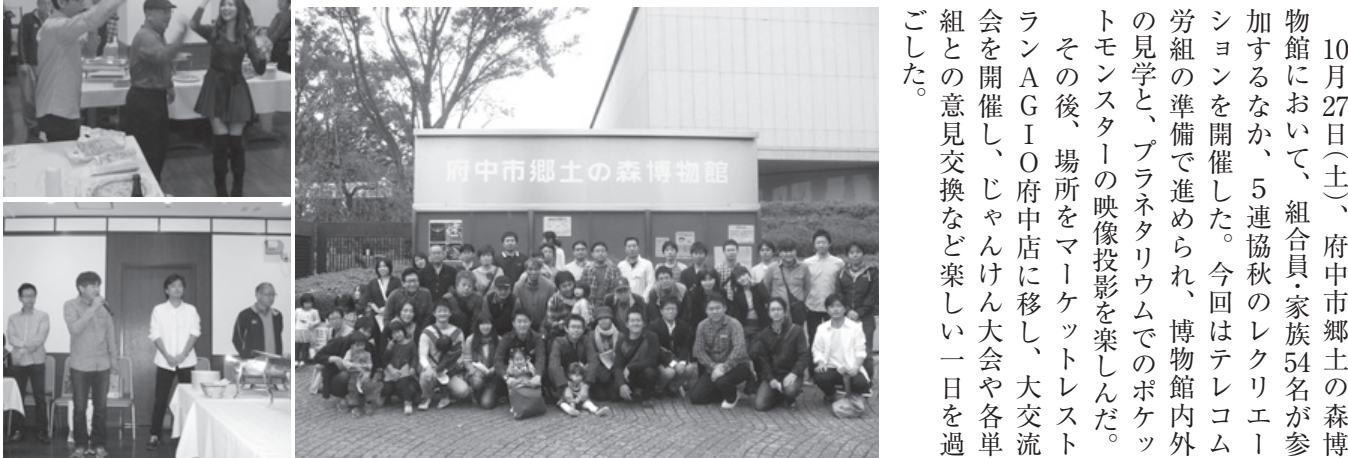
美世志会6名の懲戒解雇を無効として地位確認等を求めた裁判で、東京地裁は10月17日、八ツ田富男氏、小黒加久則氏の2名について解雇無効を認める判決を言い渡した。司法の反動化が進む現在において、2名の勝利を勝ちとった画期的判決は、全組合員の取り組みをはじめ、世界各国の労働者・市民の連帯と支援による大きな成果である。あらためてお礼を申し上げる。

一方、上原潤一氏、梁次邦夫氏、大淵慶逸氏、山田知氏の4名の請求が棄却されたことに、怒りを禁じえない。また、判決は美世志会を有罪とした、事実誤認と政治的意図にまみれた刑事事件の判決を前提としている。それを追認した東京地裁の姿勢を断固糾弾する。

会社は解雇無効を認められた2名に対し控訴した。許されざる暴挙である。会社は直ちに控訴を取り下げ、2名を職場復帰させよ。

今回の勝利判決で、闘いは大きな地平を切り開いた。JR総連はこれから行われる控訴審で、2名の職場復帰を勝ちとり、さらに4名の勝利をも勝ちとる決意である。全組合員はさらなる職場からの闘いを強化するとともに、各労働組合、市民の皆さんにあらためて支援・連帯の取り組みをお願いする。

5連協・秋のレクリエーション笑顔で大成功!



10月27日(土)、府中市郷土の森博物館において、組合員・家族54名が参加するなか、5連協秋のレクリエーションを開催した。今回はテレコム労働の準備が進められ、博物館内外の見学と、プラネタリウムでのポケルトモンスター映像投影を楽しんだ。

その後、場所をマーケットレストランAGIO府中店に移し、大交流会を開催し、じゃんけん大会や各単組との意見交換など楽しい一日を過ごした。

10月29日、第181臨時国会が開会されました。そして、今国会から新たに所属する委員会及び党の役割が決定しました。

私は、「国土交通委員会」、「議院運営委員会」、「災害対策特別委員会」、「東日本大震災復興特別委員会(理事に就任)」、「国民生活・経済・社会保障に関する調査会」の五つの委員会に所属し、党の役職では参議院民主党・新緑風会「国会対策委員会」副委員長を仰せつかりました。

特に、JR発足から25年の節目の年に、国土交通委員会に所属できたことを大変うれしく思うと同時にその責任の重さも痛感しています。国鉄改革の精神や意義が残念ながら薄れてきている昨今です。この大震災を教訓として災害に強い鉄道の実現を目指すJR総連の方針ではないかと思っています。また、田城郁の3つの政策の柱の一本である「地球にやさしい総合交通政策」の実現に向けても具体的な一歩が踏み出すことができるかと確信しています。

また、東日本大震災復興特別委員会では、被災地の復旧・復興、福島第一



田城議員近況

原発事故の問題にも引き続きしっかりと関わって行く決意です。

一方、民主党に所属する有志の議員により政策研究集団「コモンズ」が設立されました。「脱原発」「消費増税反対」「TPP参加は慎重に」、そして当然ですが集团的自衛権の行使を掲げた新自由主義の論理に反対の姿勢を鮮明にしたグループです。

私は、次期総選挙に向けての民主党のマニフェスト作成の会議においても、「この日本に自民党は二ついらない。民主党はリベラルの旗手であるべきだ」と主張しています。日本がこれ以上右傾化していくことは、組合員の皆さんの生活にも大きな影響を及ぼすことは明らかです。また、日本が世界に占めてきた「戦争をしない平和国家・日本」という立ち位置も大きく変化していくこととなります。これを許してはなりません。

私はこれからも、日本国憲法を遵守し、平和・人権・民主主義の確立した社会を創っていくために、JR総連と共に歩んでいきます。

10月23日「田城郁後援会」2012年度定期総会を開催し、今後の方針などを決定しました。

いざ!という時、大丈夫ですか? あなたの保険

《取扱商品》

- ▲自動車保険・組合主催行事保険
- ▲ゴルフ保険
- ▲がん保険・医療保険
- ▲JR積立年金
- ▲組合旗・組合パジャマ・ゼッケン
- ▲健康食品・自然食品・お茶・みかん

JR総連・各JR労組賛助団体
(株)鉄道ファミリー
〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13
TEL03(3490)3862 JR(058)4114・5

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいた組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

責任品質



脱原発・オスプレイ配備反対の闘いに決起!

JR総連・各単組は、現在秋の闘いの真っ最中である。

10月13日、東京・日比谷野外音楽堂で「さようなら原発集会in日比谷」が開催された。会場には6500名が集まり、JR総連も350名で参加した。

集会では、主催者からのあいさつやアピールに加え、「原発大国」フランスで脱原発の取り組みを行うNPOからのあいさつも紹介された。また、福島現地や建設再開が決まった大間原発の地元からのアピールが行われた。閉会のあいさつでは、城南信用金庫の吉原毅さんが経営者の立場からも脱原発を貫こうと力強く訴えた。

集会後、参加者は東電前から銀座を通



り常盤橋公園へと脱原発のパレードに繰り出した。

11月4日には、フォーラム平和・人権・環境とオスプレイの沖縄配備に反対する首都圏ネットワーク共催による、「止めるぞ!オスプレイの沖縄配備 許すな! 低空飛行訓練11・4全国集会」が、東京・芝公園で開催された。会場には全国の労連を中心に4000名が参加した。JR総連も200名以上が参加した。集会では沖縄と各地から闘いの報告とアピールが行われ、アメリカ大使館近辺へのデモが行われた。

JR総連は平和・人権・民主主義を守るため、志を同じくする人々と連帯して闘っていく。



JR西労 企業体質を一新する集会を開催

JR西労は、福知山線脱線事故から7年半にあたる10月25日、「懲罰的社員管理反対! 営利優先運行第一! 社員への責任追及・労使癒着の不安定な企業体質を一新する集会」を、リバティイオにおさかで開催した。集会には300名の組合員などが参加した。

犠牲者に対する黙祷からはじまった集会では、田村委員長から、事故後も会社の体質は変わらず、危険な事象が頻発していることが述べられた。次に犠牲者のご家族とご遺族から3社長裁判への傍聴のお礼と裁判の意義などについて述べられた。その後ジャーナリスト大谷昭宏氏から講演をいただき、さらに来賓として、田城郁参議院議員とJR総連、JR東労組、JR東海労、JR貨物労組から連帯のあいさつを行った。

それを受け、各職場からは職場の実態と闘っている現状が報告された。

JR総連はこれからもJR西労の闘いに連帯していく。

営利目的社員管理反対!
第一! 社員への責任追及・労使癒着の不安定な企業体質を一新する集

JR西労
JR西日本労働組合

JR西労

JR西労田村委員長



要請前の意思統一



橋本清人国土交通大臣政務官と要請団



民主党幹事長室 室井邦彦企業団体委員長代理

JR貨物の経営自立に向け JR貨物労組 国会要請行動を実施!

10月30日、JR貨物労組とJR総連は、国土交通省・国会議員・各政党に対して要請行動を行った。この行動には全国のJR貨物労組地方本部の代表者も参加し取り組んだ。

今回の要請行動では、60名以上の国会議員(代理を含む)に直接要請することができた。また政党としては民主党、国民の生活が第一、公明党、社民党に要請を行った。要請では、JR貨物労組が作成した組合版ロードマップの内容や意義などを説明した。

さらに国土交通省橋本清人大臣政務官に対し、JR貨物が鉄道貨物輸送としての社会的使命を発揮するための社会的システムの確立や、JR貨物が抱える構造的諸問題の解決にむけて要請を行った。

要請内容

1. 社会的使命を果たすべく、国からの支援を講じられたい。

- (1) モーダルシフト法制化に向けて総合物流大綱の充実を図るとともに交通基本法(案)の早期成立に御尽力されたい。
- (2) CO2削減など環境保全に貢献する努力をしている企業に対する支援策を講じられたい。
- (3) 整備新幹線に関する課題を解決し、鉄道全国ネットワークを維持されたい。

2. 構造的諸問題を解決されたい。

- (1) 線路使用料の法制化及び「貨物特例法案」を創設されたい。
- (2) 列車遅延時の運行整理のルールを確立されたい。
- (3) 長期債務に対して助成されたい。

**単組・地協拡大代表者会議で
当面の意志一致をはかる**

JR総連は、10月24日、目黒さつき会館において、約90名の参加者で単組・地協拡大代表者会議を開催した。来賓として、田城郁参議院議員、美世志会から小黒加久則氏、スパイ糾弾訴訟小田裕司団長にあいさつをいただいた。

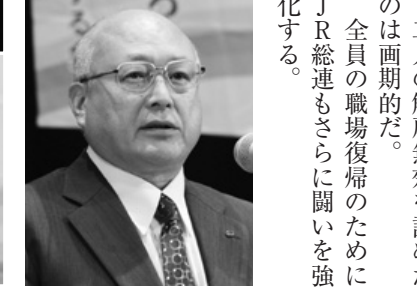
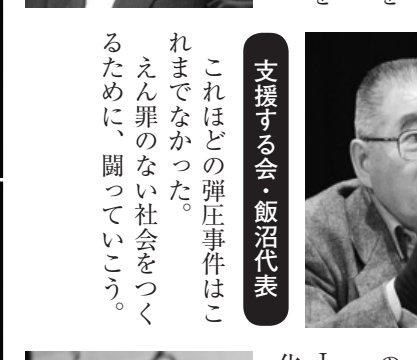
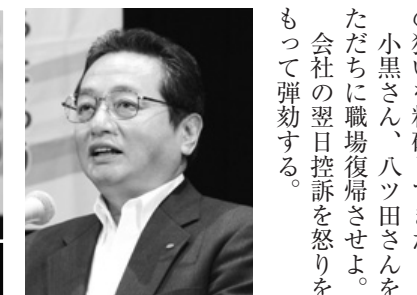
武井委員長はあいさつの中で、10月17日の浦和電車区事件地位確認訴訟にふれ、反動的な最高裁判決がありながら、八ツ田さん、小黒さん2名の懲戒解雇無効を勝ちとる成果を取ったことは、JR総連・各単組、支援する会などの運動によるものだとして示した。その上で、JR東日本会社の控訴を批判し、あらためて残り4名を含めた全員の職場復帰への闘いを提起した。

課題提起の後の質疑では、脱原発、オスプレイ配備反対など平和の取り組みや安全問題や被災地復興などに関する政策課題についての発言や、職場での課題など、多岐にわたる問題が討論された。

またで出村書記長は、①脱原発、再稼働を許さない闘い、②非正規労働者、貧困をめぐる問題、③取り調べの全面可視化の3つの課題をめぐる連帯運動こそが、これからのJR総連の3つの大きな課題だとして、残された秋の闘い、さらに2013 JR春闘に向けて、さらなる職場からの奮闘を要請した。



弾圧から10年 美世志会と共に えん罪のない社会を目指す11・1集会



JR東労組千葉委員長

大変な10年だったが権力の狙いを粉砕してきた。小黒さん、八ツ田さんをただちに職場復帰させよ。会社の翌日控訴を怒りをもって弾劾する。

JR東労組千葉委員長は、10月17日の浦和電車区事件から10年の11月1日、JR東労組・支援する会共催で、「弾圧から10年 美世志会と共にえん罪のない社会を目指す11・1集会」が開催された。会場となった日比谷公会堂には2000名を超える仲間、支援者が結集した。

オープニングでは、JR東労組全12地本の青年部員が、権力の意図をはね返し組織を強化してきたこの間の闘いを堂々と報告した。

来賓として、新党大地・真民主の鈴木宗男代表、田城郁参議院議員をはじめとする国会議員の方々、「東電OL

JR総連武井委員長

二人の解雇無効を認めたのは画期的だ。全員の職場復帰のためにJR総連もさらに闘いを強化する。

事件 無実のゴビンダさんを支援する会」の客野美喜子さん、布川事件の杉山卓男さん、さらに作家の佐藤優さんにあいさつをいただいた。

また、リレートークでは、あらためて浦和電車区事件の異常性や弾圧の実態、それに抗した反撃の闘いなどを振り返った。

数多くの徹布などを受け取った美世志会からは、控訴審に向けての決意が述べられ、会場はさらなる闘いへの闘志にあふれた。最後に、参加者全員で新たな決意を打ち固めた。



10月17日の判決から11・1集会に向けて、JR東労組の各地本では、会社に対して解雇撤回を求める街頭でのビラ配布行動などに取り組んだ。

特に大宮地本では、10月26日から11月1日にかけて、主要駅において、参加人数520名、ビラの配布枚数1万1545枚と大きな取り組みを行った。

連日の取り組みに、ビラを受け取った人たちが支援のメールが来るなど、さまざまな反響を呼んだ。

解雇撤回要求と浦和電車区事件の真実を伝えていくために、さらに取り組みを強化していく。



懲戒解雇撤回を求めた ビラ配布行動

海外でも抗議行動!!

判決の内容と会社の控訴の連絡を受けた海外の労組は、11・1集会にあわせて抗議活動を行った。

**10月30日 フィリピン・マニラ市
在フィリピン日本大使館前
BMP.**

U.T.W.O.が合同で、美世志会の不当判決、全員の復職を求めて抗議行動。

**11月1日 タイ・バンコク市
在タイ日本大使館**

タイ国鉄労組・ビルマ海員組合、書記官に、労働組合権の侵害をやめ、美世志会の即時職場復帰を求めて、野田首相宛要請書を手渡す。

**11月1日 ビルマ・ヤンゴン市
在ビルマ日本大使館**

ビルマ海員組合およびビルマ労働者有志 書記官に野田首相宛要請書を手渡す。

タイ・書記官に抗議文を手渡す

フィリピン日本大使館前